

(2012年5月8日訂正版)

日本ラテンアメリカ学会第33回定期大会プログラム

会場：中部大学 春日井キャンパス 10号館、15号館

期日： 2012年6月2日(土)、3日(日)

6月2日(土)

10:00~ 受付

11:00~12:45 パネルA チョルーラとテオティワカンのモニュメント性と聖なる自然 1024 教室

パネルB テレノベラの諸相 1023 教室

分科会1 民主主義と暴力 1022 教室

分科会2 文化・社会 1021 教室

12:45~14:30 昼食

理事会 102C 教室

14:30~16:15 パネルC ポスト新自由主義期ラテンアメリカにおける民主主義の課題 1024 教室

—中央アンデスの事例から

パネルD ロベルト・ボラーニョのアクチュアリティ 1023 教室

分科会3 農民・企業・暴力 1022 教室

分科会4 歴史 1021 教室

16:30~16:50 講演 「韓国におけるラテンアメリカ研究」韓国ラテンアメリカ学会(LASAK)

Guido Song 会長 1521 教室

16:50~17:30 記念講演 「キューバ経済の現状と見通し」Omar Everleny Pérez Villanueva

(ハバナ大学キューバ経済研究所長) 1521 教室

17:35~18:35 総会 1521 教室

18:40~20:40 懇親会 第一学生ホール

6月3日(日)

10:00~ 受付

11:00~12:45 分科会5 移民 1024 教室

分科会6 メキシコの諸相 1023 教室

分科会7 文学 1022 教室

分科会8 日系人社会 1021 教室

分科会9 メキシコ史 1034 教室

12:45~14:00 昼食

理事会 102C 教室

14:00~14:40 講演 「日本の対中南米外交」外務省山田彰中南米局長 1521 教室

14:45~16:30 シンポジウム 「キューバ社会主義の展望」 1521 教室

1日目 6月2日(土)

11:00~12:45 : パネル・分科会

- パネルA チョルーラとテオティワカンのモニュメント性と聖なる自然 【1024 教室】
コーディネーター・司会: 杉山 三郎 (愛知県立大学)
報告者 杉山 三郎 (愛知県立大学) チョルーラとテオティワカンのモニュメント性と聖なる自然
嘉幡茂 (愛知県立大学研究員)・千葉裕太 (愛知県立大学院生) 「テオティワカンのモニュメントから出土した黒曜石の政治性」
丹羽悦子 (愛知県立大学大学院生)・杉山三郎 「テオティワカン壁画に象徴される聖なる自然」
ガブリエラ・ウルニューエラ (ラス・アメリカス大学)・パトリシア・ブランケット (ラス・アメリカス大学)・佐藤吉文 (国立民族学博物館外来研究員) 「大ピラミッドと都市: 考古学からみたチョルーラ研究の現状と課題」 小林貴徳 (同志社大学非常勤)・谷口智子 (愛知県立大学) 「チョルーラの都市空間に投影された聖なる地形」
小林致広 (京都大学) 総括・コメント
- パネルB テレノベラの諸相 【1023 教室】
コーディネーター・司会: 松本アルベルト (アイデアネットワーク)
水戸博之 (名古屋大学) 「“El clon” における二つの宗教」
野内遊 (名古屋大学非常勤) 「テレノベラの社会的機能と El clon における麻薬問題の表象」
パトリシア・ベレン・タカヤマ (早稲田大学大学院生) 「Expansión internacional de productos culturales: el caso de las telenovelas latinoamericanas」
- 分科会1 民主主義と暴力 【1022 教室】
司会: 二村久則 (名古屋大学名誉教授)
望月博文 (名古屋大学大学院生) 「中央アメリカ ホンジュラスの凶悪犯罪集団マラス ―その成り立ちと組織形態の一考察」
鈴田征紀 (東北大学研究生) 「民主的正統性の下に眠るクーデター期待: ベネズエラを軸にした世論調査分析」
坂口安紀 (アジア経済研究所) 「ベネズエラにおける参加民主主義: 地域住民委員会を中心に」
幡谷則子 (上智大学) 「コロンビア紛争地域における土地問題と農民運動―農民特別保留地 (ZRC) の事例」
- 分科会2 文化・社会 【1021 教室】
司会: 山崎真次 (早稲田大学)
古谷嘉章 (九州大学) 「Neo-Marajoara: アマゾン先史土器のモダニズム」
木下雅夫 (立教大学他非常勤)、ユイ・デ・長谷川、ニナ (上智大学) 「メキシコの子供たちに人生を捧げた作者たち(1872-1972)」
遠藤健太 (名古屋大学大学院生) 「ペロン政権(1946~1955年)の文化政策を再考する」
田村徳子・石丸香苗 (京都大学院研究生) 「ブラジル土地なし農民コロニーにおける就学状況: パラ州サンタバーバラ郡の事例」

14:30～16:15：パネル・分科会

- パネルC ポスト新自由主義期ラテンアメリカにおける民主主義の課題—中央アンデスの事例から 【1024 教室】
コーディネーター・司会: 遅野井茂雄 (筑波大学)
報告者: 新木秀和 (神奈川大学)
村上勇介 (京都大学)
浦部浩之 (獨協大学)
- パネルD ロベルト・ボラーニョのアクチュアリティ 【1023 教室】
コーディネーター・司会 野谷文昭 (東京大学)
報告者: 内田兆史 (明治大学) 「女たちはなぜ殺され続けるのか——2666 第 4 部を巡って」
仁平ふくみ (東京大学大学院生) 「*Amuleto* における文学都市」
Manuel Azuaje Álamo (東京大学大学院生) 「ボラーニョと SF」
- 分科会 3 農民・企業・暴力 【1022 教室】
司会: 岸川毅 (上智大学)
石丸香苗 (京都大学大学院生) 「アマゾン土地なし農民コロニーにおける農作の特徴」
橘生子 (津田塾大学国際関係研究所 研究員) 「ブリゾーラは扇動者だったのか——ブラジル「64 クーデタ」再考に向けて」
吉野達也 (神戸大学大学院生) 「メキシコにおける農業分野のポピュリズム政策—ユカタン州、コルデメックス株式会社を中心に—」
柴田修子 (大阪経済大学非常勤) 「戦時性暴力をどう裁くか—グアテマラの事例—」
- 分科会 4 歴史 【1021 教室】
司会: 小林致広 (京都大学)
吉江貴文 (広島市立大学) 「近代ラテンアメリカにおける公証人制度の展開と公文書管理—18・19 世紀ラパスの事例を中心に—」
山崎眞次 (早稲田大学) 「アリの虎、マヌエル・ロサダの再考」
後藤 雄介 (早稲田大学) 「ホセ・マリーア・アルゲーダス研究の現在——生誕百年周年を経て」

16:30～20:40：講演・記念講演・総会・懇親会

- ◇ 講演 16:30~16:50 「韓国におけるラテンアメリカ研究」韓国ラテンアメリカ学会 (LASAK)
Guido Song 会長 【1521 教室】
- ◇ 記念講演 16:50~17:30 「キューバ経済の現状と見通し」Omar Everleny Pérez Villanueva
(ハバナ大学キューバ経済研究所所長) 【1521 教室】
- ◇ 総会 17:35~18:35 【1521 教室】
- ◇ 懇親会 18:40~20:40 懇親会 【第一学生ホール】

2 日 目 6 月 3 日 (日)

11:00~12:45 : 分科会

■ 分科会 5 移民

【1024 教室】

司会：堀坂浩太郎（上智大学名誉教授）

山脇千賀子（文教大学）「ペルーを中心とした移民現象をめぐる一考察—米国・スペイン・日本の比較—」

伊藤秋仁（京都外国語大学）「ブラジルにおけるスペイン人移民の可視性」

フランシス・ペディ（York Univ.）「*Identidad y exilio: las organizaciones comunitarias de los chilenos en Canadá, 1973-1990.*」

岡本年正（東京大学大学院生）「アンデスの信仰の現代性——ペルー、クスコにおける *turismo místico* の事例から」

■ 分科会 6 メキシコの諸相

【1023 教室】

司会：畑恵子（早稲田大学）

小林致広（京都大学）「メキシコにおける「事実としての先住民自治」の試み」

池田光穂（大阪大学）「プリズムとしての地方政治：マヤ系先住民の文化と自治」

渡辺 暁（山梨大学）「大統領選挙前夜のメキシコ農村部—ユカタン州の二つの地方自治体にみる選挙運動」

■ 分科会 7 文学

【1022 教室】

司会：野谷文昭（東京大学）

棚瀬 あずさ（東京大学大学院生）「ルベン・ダリオの詩における詩人像」

安保寛尚（大阪大学他非常勤）「ムラータの神話、「ネグリート」のパフォーマンス—『ソンのモチーフ』におけるニコラス・ギジェンの「チョテオ」の戦略について—」

高木佳奈（東京外国語大学大学院生）「アルゼンチンにおける日系移民文学」

高際裕哉（東京外国語大学大学院生）「Ricardo Piglia(1940-), *Respiración artificial*(1980)におけるメタフィクション性」

■ 分科会 8 日系人社会

【1021 教室】

司会：牛田千鶴（南山大学）

重松由美（名古屋大学他非常勤）「在日ブラジル人高校生と大学生の言語運用と言語意識」

アナリア・ヴィタレ（関西学院大学）「バイリンガルをめぐる 社会状況：在日のスペイン語圏の外国人」

寺澤宏美（名古屋大学他非常勤）「在日ペルー人の食生活に関する考察」

田島久歳（城西国際大学）「ブラジリアン・ディアスポラに関する一考察」

■分科会 9 メキシコ史

【1034 教室】

司会： 水戸博之（名古屋大学）

八十田 糸音（大阪大学大学院生）「1545-48年にヌエバ・エスパーニャを襲った疫病について」

立岩礼子（京都外国語大学）「エルナン・コルテスから見たメキシコ征服直後の状況—1524年の文書を中心に—」

川田玲子（名古屋短大非常勤）「メキシコ紋章」のカトリック的解釈」

14:00～14:40 講演

◇ 講演 「日本の対中南米外交」 外務省山田彰中南米局長

【1521 教室】

14:45～16:30 シンポジウム

◇ シンポジウム キューバ社会主義の展望

【1521 教室】

コーディネーター・司会 狐崎知己（専修大学）

パネリスト： 山岡加奈子（アジア経済研究所）

Omar Everleny Pérez Villanueva（ハバナ大学キューバ経済研究所）

Luisa Basilia Iñiguez Rojas（ハバナ大学）

コメンテーター： 後藤政子（神奈川大学名誉教授）